

プログラム

基調講演

天野 正博（森林総合研究所）
" 地球温暖化と森林そして京都議定書 "

プログラム

発表時間：30分（20分発表+10分質疑応答）

プログラム

登録：平成13年3月8日9時
3月8日 午後（13：00～）

—座長：松本（森林総研）—

白石 則彦（東京大学） 「システム収穫表成長モデルの生態的検証」

能本 美穂（九州大学） 「ランダム効果を伴う多変量非線形回帰モデルによる林分成長モデルの推定」

—座長：白石（東京大学）—

松村 直人（三重大学） 「熱帯早生樹種の地域間成長比較

—東南アジア地域のアカシヤマンガウムの成長分析」

竹内 公男（新潟大学） 「林家の森林資源管理のための成長予測モデルの検討」

—座長：松村（三重大学）—

時光 博史 「立木消失の指標」

（広島県林業技術センター）

二宮 嘉行（九州大学） 「林木直径成長データを用いた成長傾向に対する変化点探索法の構築」

平田 泰雅（森林総研四国） 「LIDARリモートセンシングで森林の構造を捉える」

3月9日 午前（9：00～）

—座長：吉本（統計数理研究所）—

立花 敏（森林総研） 「主要国・地域における木材需給・貿易構造に関する一考察
：初歩的計量経済的アプローチ」

小山 修 「世界林産物需給モデルの開発」

（国際農林水産業研究センター）

—座長：岡（森林総研）—

行武 潔（宮崎大学） 「クロスセクションデータによる素材生産関数分析」

吉本 敦（統計数理研究所） 「最適確率制御モデルを用いた貿易自由化の森林資源管理への影響分析」

—座長：廣嶋（東京大学）—

李 定洙（東京大学） 「経済的・生態的側面を同時に考慮した戦略的計画」

林 隆男（名古屋大学） 「人工林資源の持続的管理の可能性」

3月9日 午後（13：15～）

—座長：鹿又（森林総研）—

松本 光朗（森林総研） 「COP・IPCCが求める国家インベントリーシステムの姿」

豊田 信行 「スギ人工林の間伐と炭素吸収」

（愛媛県林業技術センター）

伊藤 昭彦 「プロセスモデルによる森林の炭素貯留とその収支変動のシミュレーション」

（地球フロンティア研究システム）

閉会の辞